

介護過程Ⅲ・医療的ケア 授業構成・時間割(5月入学者)

日数	日別授業構成 (教育に含むべき内容)	開講時間	講習時限 0 時限 30 分	時間別授業構成		講習場所	講師
				(到達目標)	授業概要		
1 日目		8:30 ~ 9:00			開校式・オリエンテーション		下町
9月12日(土)	介護過程Ⅰの復習 多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識、技術を総合的に活用し分析力・応用力を評価する	9:00 ~ 10:00	1	60	介護過程Ⅰの復習		
		10:05 ~ 11:05	2	60	介護過程Ⅱの復習		
		11:10 ~ 12:10	3	60	実務者研修過程で学んだ知識・技術を確実に習得し活用できる		
		13:10 ~ 14:10	4	60	関係する資料から利用者情報を読み解く		
		14:15 ~ 15:15	5	60	ケアプラン(1表~5表)の読み取り方		
		15:20 ~ 16:20	6	60	事例を基にケアプランから利用者情報を読み解く		
9月13日(日)	介護技術の評価 介護技術の原理原則を習得・実践とともに、知識、技術を総合的に活用した判断力・応用力を評価する	9:00 ~ 10:00	1	60	インテーク・アセスメントの方法		
		10:05 ~ 11:05	2	60	ボディメカニクスの原理・原則		
		11:10 ~ 12:10	3	60	介護現場でのボディメカニクス		
		13:10 ~ 14:10	4	60	寝具の整え方(シーツの整え方)		
		14:15 ~ 15:15	5	60	体位・体位変換(床上での水平・上方移動含む)		
		15:20 ~ 16:20	6	60	移乗の介助(一般的な移乗介助)		
		16:25 ~ 17:25	7	60	移乗の介助(体格差のある場合)(スライディングボード含む)		
9月19日(土)	介護過程Ⅲの展開の実践 多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識、技術を総合的に活用し分析力・応用力を評価する	13:00 ~ 14:00	1	60	アセスメント情報から利用者像を把握するグループワーク		
		14:05 ~ 15:05	2	60	フェイスシート・アセスメントシートの作成		
		15:10 ~ 16:10	3	60	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、体系的なアセスメントができる		
		16:15 ~ 17:15	4	60	目標設定の視点と方法		
9月20日(日)	介護技術の評価 介護技術の原理原則を習得・実践とともに、知識、技術を総合的に活用した判断力・応用力を評価する	9:00 ~ 10:00	1	60	介護計画書・手順書の作成		
		10:05 ~ 11:05	2	60	排泄の介助(ポータブルトイレ)		
		11:10 ~ 12:10	3	60	排泄の介助(差し込み便器・尿器)		
		13:10 ~ 14:10	4	60	排泄の介助(おむつ交換・パッド含む)		
		14:15 ~ 15:15	5	60	移動の介助(歩行介助・杖歩行介助)		
		15:20 ~ 16:20	6	60	移動の介助(車いす介助)		
		16:25 ~ 17:25	7	60	着脱の介助(椅座位・端座位)		
9月21日(月)	介護技術の評価 介護技術の原理原則を習得・実践とともに、知識、技術を総合的に活用した判断力・応用力を評価する	9:00 ~ 10:00	1	60	着脱の介助(臥位)		
		10:05 ~ 11:05	2	60	【到達目標1】知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、体系的な実施ができる		
		11:10 ~ 12:10	3	60	【到達目標2】知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる		
		13:10 ~ 14:10	4	60	食事の介助(椅座位・端座位・半座位)		
		14:15 ~ 15:15	5	60	食事の介助(臥位)		
		15:20 ~ 16:20	6	60	口腔清潔の介助		
		16:25 ~ 17:25	7	60	入浴の介助		
9月22日(火)	介護過程の展開の実践 多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識、技術を総合的に活用し分析力・応用力を評価する	9:00 ~ 10:00	1	60	入浴・清潔の介助(足浴・腕部清拭)		
		10:05 ~ 11:05	2	60	清潔の介助(全身清拭)		
		11:10 ~ 12:10	3	60	介護福祉士の実技試験とキャリア段位制度		
		13:10 ~ 14:10	4	60	介護現場でのヒヤリハット、事故と対応		
		14:15 ~ 15:15	5	60	ヒヤリハット報告書の作成		
		15:20 ~ 16:20	6	60	モニタリングの視点		
9月23日(水)	介護技術の評価 介護技術の原理原則を習得・実践とともに、知識、技術を総合的に活用した判断力・応用力を評価する	9:00 ~ 10:00	1	60	6ヶ月後の事例・ケアプラン第5表から経過を観察する視点(グループワーク)、モニタリング報告書を作成する		
		10:05 ~ 11:05	2	60	目標の達成度、利用者の満足度等についてロールプレイ		
		11:10 ~ 12:10	3	60	再計画の目標設定(今後の新たな課題)		
		13:10 ~ 14:10	4	60	【到達目標1】知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、体系的な実施ができる		
		14:15 ~ 15:15	5	60	【到達目標2】知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる		
		15:20 ~ 16:20	6	60	①視覚障害者歩行の介助 → 食事 ②車いすへ移乗 → 車いすの移動 → いすへの移乗 ③ベッドから起き上がりから端座位 → ポータブルトイレへ移乗 ④杖歩行の介助 → 趣味の活動		
		16:25 ~ 17:25	7	60	知識等の習得度の評価		
11月22日(土)	演習 喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)	9:00 ~ 10:00	1	60	口腔内の喀痰吸引(通常手順)		看護部
		10:10 ~ 11:10	2	60	口腔内の喀痰吸引(通常手順)		
		11:20 ~ 12:20	3	60	口腔内の喀痰吸引(レスピレーター装着者)		
		13:30 ~ 14:30	4	90	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)		
		14:35 ~ 15:35	5	60	鼻腔内の喀痰吸引(レスピレーター装着者)		
		15:45 ~ 16:45	6	90	気管カニューレ内部の喀痰吸引(通常手順)		
11月23日(日)	演習 経管栄養(基礎的知識・実施手順) 医療的ケアの基礎知識	9:00 ~ 10:00	1	60	気管カニューレ内部の喀痰吸引(レスピレーター装着者)		看護部
		10:05 ~ 11:05	2	60	経管栄養【胃ろう・腸ろう】(滴下)		
		11:10 ~ 12:10	3	60	経管栄養【胃ろう・腸ろう】(滴下)		
		13:10 ~ 14:10	4	60	経管栄養【胃ろう・腸ろう】(半固形)		
		14:15 ~ 15:15	5	60	経管栄養【経鼻経管栄養】		
		15:20 ~ 16:20	6	60	経管栄養【経鼻経管栄養】		
		16:30 ~ 17:30	7	60	救急蘇生法		